

2023 Spring

MIYAZAKI

# いくせい

No.76



一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会





# ヤギの気持ち

一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会  
会長 八木 志乃舞

会員みなさま、お変わりありませんか。

昨年、6月に会長に就任し早いもので半年が過ぎました。コロナ禍での就任で当初はさまざまな会議もオンラインでの参加でした。

昨年7月からの7波が落ち着き始めた頃から少しずつ集合での会議が増えた矢先に、今度は11月から8波の襲来です。コロナワクチンの優先接種に知的障がい者が加わりましたが、施設で働く方が加わらなかったのは残念だと感じました。それでも、優先接種に加わったのは罹患すると重症化になりやすいのでよかったです。

今年5月には2類から5類に引き下げになります。対応についてはまだ議論の途中のようです。

また、一昨年は、コロナで延期されていた国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭が宮崎県で行われました。4年後には国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が行われます。少しずつコロナ前に戻ってきているように感じています。

育成会においてもコロナ禍では、昨年11月に予定していた県大会が中止になりみなさまにお会いする機会がありませんでした。来年度は、県大会が開催できるようコロナが落ち着いていると願ってなりません。

ところで、従来から当育成会の情報発信力を高めることが課題となっていました。昨年、ようやくホームページを開設し、今年になってリーフレットの作成をしたところです。ホームページには県育成会の活動報告を載せていく予定でいます。ぜひ、のぞいてもらえると嬉しいです。

これからもいろいろな形で育成会の様子や情報をお届けできればいいなと個人的には考えております。

情報提供の一つとして今年2月の特別支援学校PTA連合会研修会で障害基礎年金の学習会を実施させていただきました。今後、各特別支援学校の保護者様への情報提供として学習会を行えればといいなと思っています。

これからも県育成会をよろしくお願いします。





## ○ 特別寄稿

### 特別支援教育の現状について

宮崎県特別支援教育研究連合  
会長 酒井 裕市  
(宮崎県立みやぎき中央支援学校)

手をつなぐ育成会には、本県の特別支援教育に日頃からご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。本連合は、県内の特別支援教育関係者全体で研究活動を行う団体であり、小中学校、高等学校、特別支援学校等における障がいのある子供たちへの教育の在り方について日々研鑽を行っております。この3年間、どのご家庭や学校、地域においても、コロナ禍に悩まされながら大変な毎日を過ごしておられることと思います。本連合でも3年ぶりの研究大会をようやくオンライン方式で再開できたところです。

一方で、国においてはDX（デジタルトランスフォーメーション）が話題となっており、学校教育に関しても「ギカスクール構想」の下で、一人一台端末の整備がなされました。今では、県内どの学校でも、子どもたちが自分のタブレットを使って学習する風景が当たり前になってきました。また、オンラインを通じて離れた場所の人々とも交流学习を行うことができるようになってきました。

また、最近、障害者権利条約に関して対日審査が行われ、わが国の特別支援教育について障害者権利委員会から、いくつかの「懸念」や「要請」が示されました。特別支援教育の仕組みは、インクルーシブ教育の世界的な流れから見ると、不十分ではないかという指摘だと思いますが、日本政府から見ると言い分があり、反論もなされています。いずれにしても、究極的には、インクルーシブ教育を目指すわけですから、「多様で柔軟な学びの場を提供する」ことを目指す我が国の「インクルーシブ教育システム」が、今後一層発展していくものと思います。

特別支援学校にいますと、数十年前に比べて軽度の知的障がいの子供さんの割合が増えてきていることが気になります。そして、少子化に伴って小中学校の児童生徒数が年々減少する中、知的障がいを中心に特別支援学校に在籍する児童生徒は増加しています。特別支援教育への抵抗感が薄まった点では良いのかもしれませんが、知的障がいのある子供たちが地域から遠ざかっているような気がして心配です。共生社会に向けて、地域の学校が障がいのある子供もいない子供も安心して通える場所になっていくことを強く願っております。

そのほか、特別支援学校においては、学習指導要領が高等部について順次学年進行で移行されているところであり、教育内容の充実を図るべく、各校で研修や実践が行われています。本県の施策においては、令和4年2月に「宮崎県立特別支援学校教育整備方針」も出され、今後に大きな期待が寄せられています。また、県内の高等学校において通級による指導を行う学校が15校に増えており、高等学校において特別支援教育への対応が急速に進んでいます。発達障がいを中心とした教育の発展に期待したいと思っております。

ところで、本校には、小学部から高等部まで約280名の知的障がいのある児童生徒がいますが、個性的な造形作品を作る生徒や、のびのびと演奏や合唱を行う生徒、バスケットボールや陸上競技などのスポーツ活動を熱心に行う生徒がたくさんいます。今年も全国レベルの賞を何人も受賞しました。生涯を通して豊かに生きる上で、文化・スポーツなどでの生きがいづくりはとても大切なことだと思っています。

これからも、私共、本研究連合の会員は、保護者、福祉・医療等の関係機関、そして手をつなぐ育成会の皆様方とも共に手を取り合いながら、子供たちの明るい未来を目指して取り組んでいければと存じます。今後とも、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



# ライオンズクラブについて

宮崎市内7ライオンズクラブ  
代表幹事 興梶裕周

この度、宮崎県手をつなぐ育成会さんをご縁がありまして会報誌にてご挨拶させていただきます事となりました。

今期宮崎オーシャンライオンズクラブ幹事と宮崎市内7ライオンズクラブの代表幹事を務めさせて頂いております興梶裕周と申します。

ライオンズクラブとは

Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety

自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

クラブとは

地域社会への奉仕を共通の目的とした善意の人々の集まり

世界的に大きな奉仕団体ですが各地域隅々まで組織化されたクラブが活動しており、各クラブが地域で献血・献眼・献腎運動、高齢者や障がい者に対する支援、清掃活動などの環境保護、青少年育成事業、災害援助など多岐にわたる奉仕活動を労力並びに金銭での協力を行っております。

今期は宮崎県と宮崎県手をつなぐ育成会さんにご後援をいただきパークゴルフ大会を企画させていただきました。

大会開催費用の金銭協力並びに大会運営の協力を計画させていただいたのですが、コロナ禍の影響で残念ながら中止となりました。

その代替えとして宮崎県手をつなぐ育成会へ大会準備金、活動資金支援金を贈呈させていただく事としました。

宮崎県手をつなぐ育成会の今後の活動にご活用ください。

1925年にアメリカでライオンズクラブ第9回国際大会が開催されゲストに招かれたヘレンケラーが最後に次のように訴えました。

「ライオンよ、盲人たちの闇を照らす光の騎士となれ」

我々ライオンズクラブは奉仕を通して地域の方々に光を照らし、笑顔にできればと思います。

今回ご縁をいただいた宮崎県手をつなぐ育成会さんの活動趣旨に賛同し今後とも末永くご支援させていただきたいと考えています。

今後とも宮崎市内7ライオンズクラブをよろしく願いいたします。





## ○ 育成会活動報告

### ◇宮崎県福祉サービス運営適正化委員会:会長 八木 志乃舞

社会福祉法第83条に基づき、宮崎県社会福祉協議会に設置された公平・中立な第三者機関で、福祉サービス利用援助事業の適正な運営を確保するための助言・勧告を行うほか、福祉サービスの利用者等からの苦情を適切に解決するための事業を実施します。

#### 日常生活自立支援事業に係る市町村社会福祉協議会訪問調査

令和4年11月17日(木)

宮崎県社会福祉協議会からの委託を受けて実施する日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するため、市町村社協を訪問調査し、必要に応じて助言・指導を行うことを目的とするものです。

令和4年度は運営監視委員として宮崎市・日南市の社会福祉協議会へ訪問調査を行いました。本年度からの参加のためまずはどのようなサービスから理解から始めました。

日常生活自立支援事業とは、認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が不十分な方が地域で安心して暮らせるように福祉サービスの利用手続きや金銭管理のお手伝いを市町村社協が行います。

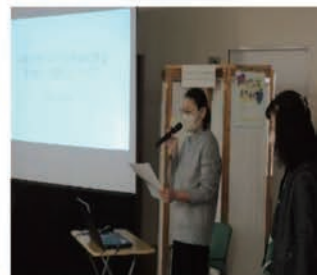
家族でのサポートだけでなく福祉サービスを利用しながら自立した生活を送れるような社会であってほしいと思いました。

### ◇向陽の里家族会研修会:会長 八木 志乃舞

令和4年12月4日(日)に向陽の里家族会の研修会が向陽の里の作業棟で開催されました。

これまで新型コロナウイルス感染症のため、家族会の開催ができなかったとのことです。

今回、向陽の里の感染対策などについて向陽の里より説明を聞かれるため、家族会の皆様が集まられると伺い、6月に会長に就任したことと今後の取組などについて、ご挨拶をさせていただきました。





◇令和4年度 宮崎県障がい者施策推進協議会(宮崎県自立支援協議会)

:会長 八木 志乃舞

日時:令和5年2月6日(月)13時30分  
場所:県庁防災庁舎7階 防71・72号室

福祉保健部部長挨拶からはじまり、会長選任が行われました。

まずは、「宮崎県障がい者計画」を元に令和3年度の報告がありました。

「宮崎県障がい者計画」は、障がい者基本法第11条の規定に基づき、宮崎県における障がいのある人のための施策に関する基本的な計画として、平成31年3月に策定されたものです。県では、当計画に基づき、福祉・保健分野に限らず総合的な取り組みを進めています。

報告内容は、①啓発・広報、②生活支援、③教育・育成、④保健・医療、⑤雇用・就業・経済的な自立の支援、⑥情報コミュニケーション、⑦生活・環境、⑧福祉を支える人づくり、⑨行政サービス等における配置とそれぞれ内容になりました。

次に令和4年度の主な取り組みについてです。

1. 第21回宮崎県障がい者スポーツ大会及び第22回全国障がい者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」開催状況
2. 高次脳機能障がい者のための通所教室「結」について
3. 就労継続支援事業所における工賃等の向上及び農福連携の推進について
4. 宮崎県医療的ケア児支援センターの活動報告(R4年7月~12月)
5. ひきこもり支援の取組について

以上の項目について報告がありました。

最後に第5次宮崎県障がい者計画(仮称)について説明がありました。

主な流れの中に今年7月頃にアンケートの実施があります。

調査対象の中に療育手帳の交付を受けている知的障がい者(児)とあり、調査方法はランダムでの抽出による郵送、関係機関・団体からの配布及び聞き取り調査となります。

アンケート方法にも委員より意見が出され、意見を反映された形で行われるようです。

ランダム抽出にはなりますが、対象になった際は実態把握やニーズを行政に反映させるためにも協力いただければと思いました。





◇第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会  
宮崎県準備委員会第6回全国障害者スポーツ大会専門委員会

:副会長 井上 あけみ

日時:令和4年12月6日(火) 13時30分  
場所:県庁防災庁舎5階 防52・53号室

2027年に宮崎で全国障害者スポーツ大会の開催が決定

全国障害者スポーツ大会とは、障害のある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。

2022年11月29日～31日に3年ぶりとなる第22回全国障害者スポーツ大会が栃木(いちご一会とちぎ大会)で開かれ、全国から都道府県・指定都市選手団約5,640人が参加しました。

宮崎県からは27名(知・身体・精神すべて含む)のアスリートと33名の役員が参加しており、金10個、銀11個、銅12個のメダルを獲得し、凱旋されました。

その大会が2027年に宮崎県で開催されることが決まり、育成会の代表として全国障害者スポーツ大会専門委員会やひなたパラアスリート等育成・強化委員会等の会議に参加しています。

大会までまだ4年もあるため、先の話と思われるかもしれませんがこの大会に向け活躍できるアスリートを育成する取り組みがすでに始まっています。

スポーツを本格的にしたことがない方でも、これから始めれば大会に十分間に合います。

生きがいや、社会参加の機会としてスポーツはとても素晴らしい趣味ですので、皆さんもぜひ検討してみてください。





## ◇令和4年度 宮崎県成年後見制度普及検討連絡会議

:副会長 井川 哲男

日 時:令和4年12月21日(水) 13時30分  
場 所:宮崎県企業局庁舎1F県電ホール

連絡会議会長である児玉浩明宮崎県福祉保健部次長のあいさつに始まり、県内の成年後見制度の概況説明、県北の中核機関の運営状況について事例報告がありました。その後自由な意見交換の場が設けられました。

当初は、「宮崎県における成年後見制度に関する担い手の育成案」についての意見聴取が予定されていましたが、案がまとまりきらず事務局で引き続き案の検討を行うこととなり、今回の議題として取り扱わないこととなりました。

### 1. 宮崎県における成年後見制度の概況について

成年後見人と本人との関係では、親族後見人の割合が低下(29%→18%)し、第三者後見人の割合が増加(71%→82%)しているようです。今後もこの傾向が続くだろうと説明がありました。

また、後見人となる専門職は、宮崎市に集中し、不足している地域がほとんどのようです。

不足者を補うため、市町村社協を通して研修会への受講者を募集しているとのこと。研修修了者は県内で207名ですが、実際活動中の方は73名で、養成してもすぐに活躍する場所が少ないことが課題となっています。

県内では、認知症高齢者・療育手帳A判定所持者・精神障害者保健福祉手帳1級所持者の合計は59,000人程度だそうです。その中で成年後見制度利用者数は、令和4年6月末現在で2,735人で、制度の有効活用がまだまだのようです。

### 2. 意見交換

宮崎県精神福祉連合会の方から、微妙な法律解釈により病院・警察・役所に受けとめてもらえず、老齢の母親が一人で思い悩んでいる状況の訴えがありました。成年後見とはかけ離れた話でしたが、弁護士や裁判所の方から助言をもらわれていました。

親族後見人においては、手続書類の煩雑さが問題点のようです。

裁判所から指定された後見人とは折り合いが悪い事例が多々あるとのこと。事前に顔合わせをして、了解の上後見人を決定した方が良さそうです。複数選任という方法もあるそうです。





## 令和4年度 在宅知的障がい児療育キャンプ

宮崎市手をつなぐ育成会 理事長 土屋 良子



### 志布志大黒イルカランド見学会&交流会

令和4年10月15日(土)



お天気に恵まれ、貸し切りバスで日南海岸を移動し、目指すは志布志大黒イルカランド！イルカランドでは、カメやペンギンのエサやりや動物とのふれあいなどの体験ができました。イルカのショーでは一番前の席に座った子どもたちがイルカの大ジャンプでバッシュア〜ンと水しぶきを受け「きゃ〜!!」。それを見て、みんなで大笑いしました。ペンギンのヨチヨチお散歩を見て癒されました。秋の楽しい一日を親子で満喫しました。



イルカのショー



ペンギンのお散歩



#### ～参加保護者アンケート～

- ・イルカやペンギンもかわいく、皆さまと周れただけでも人との和が嬉しかったです。
- ・すごく楽しい一日でした。なかなか親子で外出する機会もなく、動物好きな子どもに参加できた意味を感じてもらえたかと思います。
- ・すごく楽しかったです。一切トラブルがなくスタッフの方も優しくて助かりました。子どもは交流が難しいのですが、自由にさせていただけたのでとても楽でした。皆とは同じことはできませんが、記憶力はとてもいいので心に残ると思います。







## 令和4年度「若い力にバトンを渡す！」療育キャンプ

日向市手をつなぐ育成会 理事長 新名 揚子

「令和4年度在宅障がい児療育キャンプ」(令和4年12月10日、日向サンドーム)は当会としては初めての特別で嬉しい会になりました。日向ひまわり支援学校のPTA 役員の皆さんに第1回実行委員会から参加して頂き、当事者にとって第一のニーズをテーマにと就学児の療育に奮闘する若いお母さん達の話合いが始まりました。

新型コロナウイルス感染症の脅威が3年も続き、不安な環境の中で障がい児とその家族が抱える心配事、孤立、悩み等々・解決したい課題は沢山あったと思いますが、お母さん達が協議を重ねた結果は『子どもの元気と笑顔の為に』という原点だったのだと思います。親子活動の場を作り、出会い、仲間づくりから交流の機会が多くなれば、悩みや不安を話し相談しあうしゃべり場づくりの楽しみもあります。心弾む楽しい行事となりました。親御さんの活動力と頼もしいボランティアさん、障がい者事業所の利用者と支援員さん、103名の人々が手をつなぎ協力して、笑顔いっぱい有意義な時間を共有した療育キャンプでした。今後の活動につながることを楽しみにしています。







## ○事務局から

### “こころ”のふれあうフェスタ2022が開催されました

“こころ”のふれあうフェスタは、宮崎県と宮崎県障害者社会推進センターが主催する県内で音楽、ダンス等芸術活動に取り組まれている障がいのある方のステージ発表イベントです。

昨年12月10日(土)にメディキット県民文化センターイベントホールで開催され、事務局長が実行委員として参加しました。

司会は Mr.バニーさん、ゲストに「第18回ゴールドコンサート」グランプリを受賞したロックピアニスト&シンガーソングライターの香介(KOSUKE)さんを迎え、宮崎県福祉保健部長の重黒木清さんの挨拶から始まりました。

11組の皆様が出演し、約250人の来場者が歌や劇、楽器演奏などを楽しみました。

会場内のメッセージボックスに「感動しました」、「元気をもらいました」などの感想が寄せられたように、出演者の皆様のよく練習され、熱のこもったパフォーマンスは素晴らしかったです。



出演者の皆様は次のとおりです。

	出演者	内容
1	キャンパスの会	手話歌、ダンス
2	EASE	ピアノ連弾
3	本田智之	ギター弾き語り
4	望月タマエ	詩吟
5	セサミ・ツノ	パロディ劇とダンス
6	倉山幸一	詩の朗読
7	ユーロ・スピリアート	合唱
8	Y`z	歌、演奏
9	H・P・ミュージック・サポート	バンド演奏
10	牧原裕樹	ギター演奏
11	みなみかぜ	バンド演奏、ダンス





# 育成会のしおりとホームページについて

育成会とその活動内容を広くお知らせするために、  
しおりを作成するとともにホームページを開設しました。

## しおり

### 手をつなぐ育成会とは

1952年（昭和27年）、東京で知的障がい児をもつ3人の母親が、「我が子の幸せ」を願って立ち上がったのが、「手をつなぐ育成会」の始まりといわれています。現在は、全国に30万人を超える会員が加入する組織となっており、全都道府県、政令市に育成会が結成されて活動しています。

当県の育成会は、1959年（昭和34年）に宮崎県精神薄弱者育成会として設立され、2013年（平成25年）に一般社団法人となりました。

設立当初から、今日に至るまで障がいのある子の保護者や特別支援学級、特別支援学校の先生方、県・市町村の関係機関、障がい児・者の福祉に関心を寄せていただく一般の皆様方のご協力により活動を続けています。

### 手をつなぐ育成会入会のご案内

**宮崎県手をつなぐ育成会の目的**  
「知的障がい者（知的障がいのある児童を含む）及びその家族が安心して豊かに暮らせる社会の実現をめざすと共に、その福祉の増進に寄与すること」

当育成会の趣旨に賛同いただける方は、是非、入会していただけますようお願いいたします。私達と一緒に活動しましょう。

【会員の種類】

正会員 法人の目的に賛同して入会した団体及び個人

賛助会員 法人の事業に賛同するため入会した団体及び個人

【会費】

正会員 年間 2,000円

賛助会員 団体 年間 5,000円（1口）

個人 年間 1,000円（1口）

### 事務局所在地

〒880-0007  
宮崎県宮崎市原町2-22  
宮崎県福祉総合センター4階  
一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会  
TEL/FAX 0985-29-2168  
E-mail ikusei@miyazaki-catv.ne.jp

### 手をつなぎましょう

知的障がいのある人を支えます



一般社団法人

宮崎県手をつなぐ育成会

ホームページ・アドレス  
<https://45miya-iku.org>



### 育成会の組織



### ○当県育成会のあゆみ

- 1959年（昭和34年）
- ・宮崎県手をつなぐ親の会設立
- 1981年（昭和56年）
- ・（社）宮崎県精神薄弱者育成会（法人化）
- 1996年（平成8年）
- ・（社）宮崎県知的障害者育成会（名称変更）
- 2004年（平成16年）
- ・（社）宮崎県手をつなぐ育成会（名称変更）
- 2013年（平成25年）
- ・（一社）宮崎県手をつなぐ育成会（一般社団法人化）

### こんなことをしています

#### 総会、県大会の開催

- ・毎年、総会を開催するとともに、育成会の情報発信、会員の相互交流などを目的として、県大会を開催しています。

#### 各種事業の実施

- ・「心のとも」普及運動事業として、救急用絆創膏「ケエバンA」の販売をしています。
- ・県の補助を受けて知的障がい児療育キャンプ事業を実施しています。

#### 要望・提言

- ・行政機関等の各種委員会に参加して私たちの目線から要望や提言をしています。

#### 関係機関との連携

- ・県の関係機関、団体と連携して情報交換などを行っています。

#### 情報提供

- ・国、県等の動向、制度の変更、研修会の実施などの情報をお知らせしています。
- ・年2回、会報「いくせい」を発行しています。

### 参加している委員会等

- ・宮崎県社会福祉協議会
- ・宮崎県社会福祉事業団
- ・宮崎県中央発達障害者支援センター連絡協議会
- ・宮崎県障がい者雇用促進協議会
- ・宮崎県福祉サービス運営適正化委員会
- ・宮崎県障がい者スポーツ協会
- ・宮崎県社会福祉審議会

### これまでの要望など

- ・自動車税種別割・自動車税環境性能割の減免について（対象の拡大）
- ・知的障がい者の災害発生時における福祉避難センターの充実について
- ・障害基礎年金支給の繰り上げ又は生活支援手当（仮称）の創設について
- ・障害者優先調達推進法について（より有効な活用）
- ・成年後見制度の利用しやすい制度への改善と利用促進について





## ホームページ

アドレス <https://45miya-iku.org>



一般社団法人  
宮崎県手をつなぐ育成会

[トップページ](#)

[育成会について](#)

[事業内容](#)

[お知らせ](#)

[入会のご案内](#)

[お問い合わせ](#)

[関係機関\(伊A^~♪\)](#)



### 新着情報

当育成会のしおりを作成しました

2023年1月10日

書籍販売のご案内

2022年11月25日

会報いくせい75号を発行しました

2022年9月16日

ホームページを開設しました

2022年9月14日

### 住所

一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会  
〒880-0007  
宮崎県宮崎市原町2-22  
宮崎県福祉総合センター4階  
TEL/FAX 0985-29-2168

### 地図



Copyright © 一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会 All Rights Reserved.

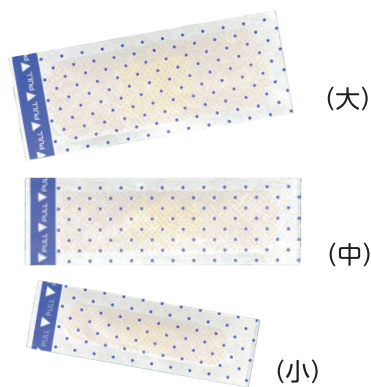




# 「心のともしび」普及運動への 協力をお願い

宮崎県内に「知的障がい」の人達がおよそ12,000人いるとされており、一般社団法人宮崎県手をつなぐ育成会では、いろいろな福祉活動をすすめております。

本年度も、「心のともしび」普及運動の一環としてケエバンAを販売中です。この運動で得ました益金は、「知的障がい児・者」の教育や福祉の振興活動に活用いたします。なにとぞ趣旨にご賛同下さいまして、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## 「心のともしび」普及運動 ケエバンA申込書

一般社団法人宮崎県手をつなぐ育成会 宛て  
**FAX.0985-29-2168**

ケエバンA 1箱200円

箱数 箱 金額 円

申込者 氏名

郵便番号 住所

電話番号

③ サイズ 20 枚入

**ケエバンA**

救急絆創膏〈半透明〉  
シアープラスター






## ○保険のお知らせ

当制度は一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会の本体事業です。

**会員向け 保険**

# おたすけプランシリーズ はじまりました!

パンフレット  
お申込み方法は  
こちら▶



**暮らしのおたすけプラン**

団体長期障害所得補償保険

病気やケガで働けなくなった時、収入をサポートします。また、のこされたご家族を守るための各種手続き費用等を補償します。

**がんのおたすけプラン**

団体総合保険  
医療保険基本特約・がん保険特約セット

障害のあるご本人もご加入でき、がん治療に係る医療費をサポートします。抗がん剤治療、先進医療にも対応した充実のがん保険です。

**おたすけプラン・日ごろの備え**

備蓄総合保険  
個人賠償責任補償特約等セット

日常生活で生じた事故によるケガ、または損害賠償責任を負った場合だけでなく、新型コロナウイルスにも対応しています。

このチラシは概要を説明したものです。詳しくはパンフレットをご参照ください。

ご不明な点がございましたら取扱代理店又は引受保険会社へお問い合わせください。

<p>(取扱代理店) <b>一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会</b> 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-17-6第三和幸ビル2F-C TEL: 03-5358-9274 FAX: 03-5358-9275 担当: 中澤・田邊 受付時間: 平日午前9時～午後5時(土・日祝日・年末年始を除きます。)</p>	<p>(引受保険会社(がん・日ごろ)) <b>損害保険ジャパン株式会社</b> 団体-公務開発部第二課 担当: 山崎・赤尾 TEL: 03-3349-5402 受付時間: 平日午前9時～午後5時</p> <p>(引受保険会社(暮らし)) <b>キャピタル損害保険株式会社</b> TEL: 03-5276-5602 受付時間: 平日午前9時～午後5時</p>	<p>5J21-11808(2021.12.20)</p>
---	---	-------------------------------

一般社団法人  
全国手をつなぐ育成会連合会の  
会員の皆様へ

# 手をつなぐがん保険

(団体総合生活保険)

障がいのある方とそこをご家族をワイドにお守りする保険です

## なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか?\*

(※)ぜんち共済のお客様アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちらから



<https://youtu.be/MU8sw5liByk>

**特長1**



**代理手続き  
代理告知が可能**

障がいのある方向け  
プラン

**特長2**



**告知対象  
疾患の緩和**

障がいのある方向け  
プラン

**特長3**



**“親なきあと”に  
備える補償**

障がいのある方  
ご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は  
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求を  
お待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]  
**ぜんち共済株式会社**  
ZENCHI  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階  
**0120-322-150**  
TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851  
URL: <http://www.z-kyosai.com/>  
MAIL: [gan@z-kyosai.com](mailto:gan@z-kyosai.com)  
(営業時間 平日10:00～16:00(土・日・祝日・年末年始を除く))

たった1分  
スマホでカンタン資料請求

※QRコードはデンソーウェーブの  
登録商標です。



[引受保険会社]  
**東京海上日動火災保険株式会社**  
公務第一部東京公務課  
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4  
TEL: 03-3515-4126(営業時間: 平日9:00～17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のペットネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

2022年5月作成 22-TC00935

## 一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会入会のご案内

### 育成会の目的

「知的障がい者（知的障がいのある児童を含む）及びその家族が安心して豊かに暮らせる社会の実現をめざすと共に、その福祉の増進に寄与すること」

当育成会は、昭和34年に宮崎県手をつなぐ親の会として設立され、昭和56年に社団法人、平成25年に一般社団法人となりました。

設立当初から、今日に至るまで障がいのある子の保護者や特別支援学級、特別支援学校の先生方、県・市町村の関係機関、障がい児・者の福祉に関心を寄せていただく一般の皆様方のご協力により活動を続けています。

当育成会の趣旨に賛同いただける方は、是非、入会していただきますようお願いいたします。私たちと一緒に活動しましょう。

### 【会員の種類】

正会員 法人の目的に賛同して入会した団体及び個人

賛助会員 法人の事業に賛同するため入会した団体及び個人

### 【会費】

正会員 年間 2,000円

賛助会員 団体 年間 5,000円 (1口)

個人 年間 1,000円 (1口)

### 【連絡先】

一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会

TEL/FAX 0985-29-2168

E-mail [ikusei@miyazaki-catv.ne.jp](mailto:ikusei@miyazaki-catv.ne.jp)

ホームページ <https://45miya-iku.org>



この会報は、赤い羽根共同募金助成金により発行しています。

寄付者のみなさん、  
ありがとうございました。



第76号

一般社団法人 宮崎県手をつなぐ育成会

宮崎市原町2番22号 宮崎県福祉総合センター4階

TEL/FAX (0985)29-2168

E-mail [ikusei@miyazaki-catv.ne.jp](mailto:ikusei@miyazaki-catv.ne.jp)

発行人 八木 志乃舞